

先人たちの生活を見てみませんか

あ こうぼう
おいらせ阿光坊古墳

(上北郡おいらせ町)

太古のロマンが、いたるところに！
畑から発見された大規模古墳群や
作られた当時の生活を見てみませんか？



文・写真 十和田南こ〜ぶ委員会



◆新型コロナウイルスへの対策に伴い、急な休館などがございます。お出かけの際は十分ご注意ください！

十和田市から国道45号で八戸方面へ向かう途中にある、いつも気になっていた「おいらせ阿光坊古墳館」に密を避けつつ見学してきました。古墳時代の終わり(7世紀前半)から平安時代(9世紀末)までおよそ300年にわたり造られてきた阿光坊古墳群。昭和62年(1987年)の農作業中、勾玉や管玉が見つかったことに端を発し、発掘調査が行われました。平成19年(2007年)に国史跡指定を受け整備が進みました。この古墳群は阿光坊遺跡、天神山遺跡、十三森(2)遺跡の3つの遺跡から成る大規模なものです。今日でも60基以上の墳丘が観察できます。当時この地域に暮らしていたと考えられる蝦夷(エミシ)のリーダーたちの墓と考えられています。古墳群から徒歩約7分の所にある古墳館。1階の展示室(有料)には出土遺物が展示

されています。生活で使っていたであろう土器。装身具である玉類には勾玉、琥珀玉、ガラス玉などさまざまな種類があります。持ち手がわらびのように丸い形をしている蔵手刀も出土しています。

この古墳館は地域の方々の憩いの空間になることを目指してつくられており、常設展示室のほか、体験学習室、歴史展示室、季節展示室を設けています。2階にある歴史展示室の広々とした展望窓からコヒー(有料)を飲みながら、奥入瀬川、八甲田山の眺望も楽しめますよ。コヒーをいただきながら、先人達はどうのように暮らしていたのだろうかと思いを馳せていたところ、目の前を新幹線「はやぶさ」が通過していきました。ラッキー♡身近にある遺跡に足を運んでタイムスリップしてみませんか？

古代の歴史を想像しながら散策するのも楽しいですね。古墳館の展望スペースは八甲田が一望でき、ホッとひと息つける場所でした。(T)

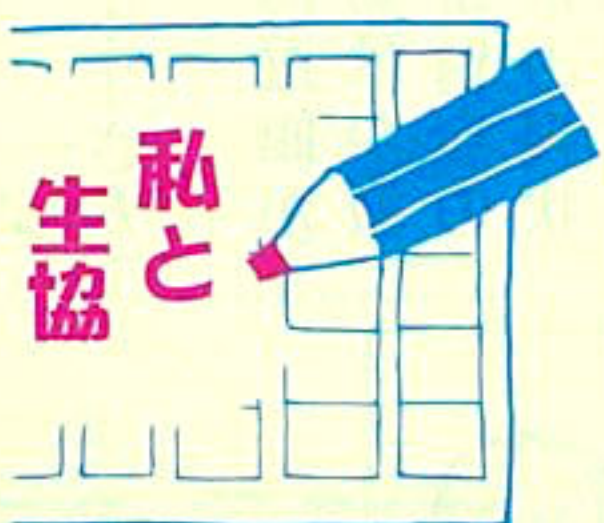
荘厳な空気が漂う中に数々の古墳が点在し、まるで異世界にタイムスリップしたような感覚に襲われました。(Y)

古墳の中で眠っていたというより、千年以上も昔、この地に生き活きと生きていた人たちの姿が想像されます。(O)

館内も広く、展示室の出土した遺物から、当時の人々がどんな暮らしをしていたのか想像するだけで楽しくなります。少し離れた古墳群は広々とした林の中にあり、天気の良い日は森林浴を楽しみながら先人達に思いを馳せるのも良いと思います。(S)

古墳館を訪ねて：(十和田南こ〜ぶ委員会の皆さんから)

お詫びと訂正 1月号の「ちよつとたんさく」の文・写真の協力が平賀こ〜ぶ委員会となりおりましたが正しくは、尾上こ〜ぶ委員会でした。この場をお借りしお詫び・訂正いたします。



弘前地域
環境委員会
山川 若奈さん
(弘前市)

私と生協との出会いは、幼少期、隣に住んでいた祖母が生協の共同購入を利用してのことでした。当時は、たこ、たらこ等が濃いピンク色に着色されていた時代。届いたためだこの、素材そのまゝの色に驚き、祖母から「これが本当の色なんだよ。」と言われた私は、内心ピンク色の方がきれいだなと思ったのでした。無知と慣れは本当に恐ろしいものだ、後々気づかされた出来事です。

そんな私は、子どもができるまでは生協を利用することはありませんでした。外食好きで好き嫌いが多く、食品添加物や化学調味料にも無頓着。しかし、子どもができたことにより意識はがらりと変わりました。生協の個性を利用しはじめ、「無塩せき」という言葉を初めて知り、食品添加物などの細かいことにも気をつけるようになりました。

また、環境委員会の存在も知りました。夫婦で関東から弘前に越してきた私は、核家族で家事育児に追われる日々でしたが、環境委員会のメンバーと出会ったことで、弘前での生活が一層楽しくなりました。信頼できる先輩たちに囲まれて、勉強したり、企画を立案実行したり。今では、名ばかりですが委員長として楽しくやっています。まだ子どもたちが小さいため、急な事情を理解してくれてドタキャンを快諾してくれ、はしゃぎまわる子どもたちを連れて行っても、まったく気にせず迎え入れてくれるメンバーたちに、心



から感謝しています。

最後に、長男がまだ赤ちゃんだった頃、参加したユニセフの集いで、機嫌の悪いわが子に手を焼き、汗だくになりながら一生懸命あやしていたことがありました。私は、申し訳なくて、集いの後委員や職員の方々に「すみません、うるさくて。」と謝りました。すると、皆さん優しく「大丈夫よ。」と言ってくださり、一人の委員の方が、「生協の主役はお母さんなの。あなたのように、勇気をもつて小さい子連れで参加してくれるお母さんがいないと、生協は意味がないの。だから、申し訳ないとか思っちゃだめ。」と言ってくださいました。



「環境に関わることに
学びあい、発信します」が
今年度のテーマです。

「かんきょう委員会」
(青森地域)

感染拡大や県内における感染者発生により活動中止の連絡。生協施設利用ルールに基づき8月より活動再開。今年度は決められた時間の中の活動ではあります。わちゃわちゃ・コッコツ取り組んでいます。

「かんきょう委員会」では、一緒に活動をしてくれる委員さんを募集しています。私たちと楽しく委員会活動をしませんか？お待ちしています。



2019年に青森市環境保全活動団体表彰をいただきました